

3. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会会長だより

「いざというとき」に備えて

北海道婦人防火クラブ連絡協議会会長 東館 のり子



北海道の長く厳しい冬の置き土産である雪山も、4月初旬のこの頃には陽差しに照らされて、上と下から解けだし、春の息吹が聞こえてきます。

道路沿いの山肌の日当たりの良い斜面には、福寿草、ふきのとうが顔を出し、和やかな解放感を覚える季節を迎えました。4月半ばを過ぎますと、草花が春遅しと競い合うように咲き始めます。

さて、私達の活動の一部をご紹介します。

今年に入りまして、2月1日に町内の3婦人防火クラブ員と、町長さんはじめ各ご来賓の方々40名の参加と、消防職員のお手伝いをいただきまして、広尾町の出前講座の講和をいただいた後、恒例の新年親睦会を開催いたしました。

日頃、地域の防火に活動しているクラブ員の方々の明るい笑顔と、趣向を凝らした隠し芸等の続出で、楽しい一時を過ごしました。最後には、クラブ員全員で防火に対する意識の確認を誓い合いました。

また、3月8日には消防署においてクラブ員30名が参加して、「いざというときに備えて」ということで心肺蘇生法の訓練をしました。始めに、消防職員の方より説明をいただき実技に入りました。クラブ員一人ひとりが、何回も訓練用人形を使つての訓練に励んでいる様子はとても頼もしく、「いざというとき」には必ず実践できるものと確信しました。

1年に1回の勉強会ですが、テキパキと確認しながら実施している人、恥ずかしさを交えながら一生懸命頑張っている人など様々でしたが、3時間の講習を受けて救急技術の必要性を改めて感じました。

一般の方々の参加が少なかったのが残念でしたが、これからはお互いに誘い合い、心肺蘇生法の普及に努めていきたいと思っております。

(消防庁機関紙「消防防災」2003-5(春季号)より転載)

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 地域防災力強化シンポジウムが各地区で開催 \(予定\)](#)
- [2. 沖縄県女性防火クラブ連絡協議会旗贈呈式の開催](#)